

令和2年度の学長の業務執行状況の確認について

学長選考会議は、国立大学法人岡山大学学長選考会議規則第3条の2に規定する学長の業務執行状況を確認したので、その結果を公表する。

1 確認の経過

- (1) 第10回学長選考会議（令和3年3月22日開催）において、令和2年度学長の業務執行状況の確認の日程について決定した。
- (2) 第1回学長選考会議（令和3年6月23日開催）において、次の資料及び学長へのヒアリング、監事からの意見聴取に基づき確認を行った。
 - ・令和2年度「学長業務執行状況報告書・確認表」
 - ・令和2年度学長業務執行状況報告プレゼンテーション資料

2 学長選考会議構成員（各五十音順）

経営協議会学外委員

梶谷 俊介
加藤 貞則
川崎 誠治
近藤 弦之介
松田 正己

教育研究評議会評議員

河原 祐馬
五福 明夫
伊達 勲
鶴田 健二
三村 由香里

3 令和2年度学長業務執行状況の確認結果

以下のことから、学長選考会議は、学長の業務執行状況は適正であることを確認した。

- ・コロナ禍が続く中、設置した新型コロナウイルス対策本部会議において一元的に対策を企画して、教職員と学生の健康と安全を守るとともに、リスクアセスメント・事業インパクト分析（BIA）・事業継続戦略（BCS）の策定・実行により、大学機能の低下リスクに対して適切な対策を行っている。
- ・SDGs 大学経営のもと、「教育改革」、「研究力向上・産学共創」、「大学経営改革」、「大学病院経営改革」等の行動計画を着実に実行した。
- ・教育改革においては、オンライン教育のための環境整備とコロナ禍における学生の生活支援を行うとともに、コロナ後を見通して学部におけるSDGs入試の導入、学位プログラム化ならびに専攻・研究科の再編統合などの抜本的な大学院改革を推進している。
- ・研究力向上・産学共創に関して、「国立大学イノベーション創出環境強化事業」の採択を受け、教職協働により経営基盤の強化を加速している。また、「次世代研究拠点形成支援事業」や「大学改革促進のための国際研究拠点形成プログラム（RECTOR）」の展開により、研究プロジェクトの強化・若手研究者育成に取り組んでいる。
- ・大学経営改革では、「岡山大学グローバル・エンゲージメント・オフィス」を設置して国際機関等との連携の強化と、デジタル化や地球温暖化対策を推進している。
- ・大学病院経営改革に関して、COVID-19感染拡大に対応するため、「岡山新型コロナウイルス対応者会議」を主導して、他の急性期病院との連携を強化して地域医療体制の確保に貢献している。大学病院経営改革計画を策定し、コロナ禍の影響が大きい中経営改善への取り組みに着手している。

以上